

5. 実施計画各論

基本目標 1 自然との共生を図り、未来へつなぐまち



施策 1 自然環境保全と循環型社会の推進

豊かな水と緑あふれる自然環境、快適で住みよい生活環境、地球環境を守り、育て、子どもたちへ引き継ぎます。また、3R（減らす、繰り返し使う、再資源化する）を実践し、限られた資源を有効利用することで、循環型社会の構築を目指します。

成果指標

項目	現状（令和元年度）	目標（令和7年度）
市民1人あたりのCO ₂ 排出量※	11.3t/年	9.7t/年
市民1人1日当たりの資源物以外のごみ排出量	877g	830g
リサイクル率※	24.9%	24.6%

※現状は環境省が公表する各自治体の「部門別CO₂排出量の現況推計」の最新版（平成29年度）から算出した値

※次期ごみ処理施設稼働に伴い、令和6年度からごみ処理方法が変更となり、処理後に発生する残渣の量（≒再資源化する量）が減少するため、目標年度のリサイクル率が現状より低下することとなる

活動指標

項目	現状（令和元年度）	目標（令和7年度）
環境美化活動参加者数	1,731人/年	1,800人/年

◆主な取組

自然・環境保全活動の推進

市民や事業者が自然・環境について学ぶとともに、自然と触れ合う機会の創出に取り組みます。また、市民等との連携による環境保全や環境美化の活動に取り組みます。

<取組の体系>

自然・環境保全活動の推進	
	環境保全教育・環境美化啓発事業
	大気・水質等環境調査・監視事業

事業名		環境保全教育・環境美化啓発事業		
担当課	環境課			
事業内容	小学校を対象とした水生生物調査を実施し、自然・環境保全教育を推進する。			
	各町区や市民団体、語学学校に通う外国人などにむけた環境教育・環境講座を開催し、市民一人ひとりが身近ですぐにできる具体的な行動を紹介し、実践行動を推奨する。			
	市民や事業所、まちづくり推進協議会と連携した定期的な環境美化活動を実施する。			
総事業費		継続事業	令和7年度事業費	-
年度別 事業計画	令和7年度		令和8年度	
	小学生とその保護者を対象に水辺に住む水生生物調査の実施		小学生とその保護者を対象に水辺に住む水生生物調査の実施	
	各町区や市民団体、語学学校等への環境教育・環境講座の開催		各町区や市民団体、語学学校等への環境教育・環境講座の開催	
	市民や事業者、まちづくり推進協議会と連携した定期的な環境美化活動の実施		市民や事業者、まちづくり推進協議会と連携した定期的な環境美化活動の実施	
関連する個別計画		鳥栖市環境基本計画		

事業名		大気・水質等環境調査・監視事業		
担当課	環境課			
事業内容	大気・水質等の監視を行うことで、多様化する環境問題の未然防止に取り組む。 衛生処理場敷地内および敷地周辺の観測井戸の水質を継続的に監視することで、安全性の確認に取り組む。			
総事業費		継続事業	令和 7 年度事業費	4.4 百万円
年度別 事業計画	令和 7 年度		令和 8 年度	令和 9 年度
	水質汚濁測定の実施 （河川、工場排水等）		水質汚濁測定の実施 （河川、工場排水等）	水質汚濁測定の実施 （河川、工場排水等）
	大気汚染測定の実施 （二酸化窒素、降下ばいじん ）		大気汚染測定の実施 （二酸化窒素、降下ばいじん ）	大気汚染測定の実施 （二酸化窒素、降下ばいじん ）
	衛生処理場敷地及び敷地周辺の水質		衛生処理場敷地及び敷地周辺の水質	衛生処理場敷地及び敷地周辺の水質
	モニタリング調査の実施		モニタリング調査の実施	モニタリング調査の実施
関連する個別計画		鳥栖市環境基本計画		

◆主な取組

地球温暖化対策の推進

地球温暖化の原因とされる温室効果ガスを抑制するための対策に取り組めます。

<取組の体系>

地球温暖化対策の推進	
	エコライフ推奨事業
	ゼロカーボンシティ宣言推進事業

事業名		エコライフ推奨事業		
担当課	環境課			
事業内容	市民の自主的、積極的なエコライフ行動の動機付けとなるよう、身近でできるエコライフ行動を市報等で広報し市民の意識向上を図る。 市内全小学校において、地球温暖化をテーマとした環境出前講座を実施する。			
総事業費		継続事業	令和7年度事業費	-
年度別 事業計画	令和7年度		令和8年度	令和9年度
	身近でできるエコライフ行動の市報等による周知 市内全小学校で地球温暖化をテーマにした出前講座の実施		身近でできるエコライフ行動の市報等による周知 市内全小学校で地球温暖化をテーマにした出前講座の実施	身近でできるエコライフ行動の市報等による周知 市内全小学校で地球温暖化をテーマにした出前講座の実施
関連する個別計画		鳥栖市環境基本計画		

事業名		ゼロカーボンシティ宣言推進事業		
担当課	環境課			
事業内容	ゼロカーボンシティ宣言の基となる鳥栖市地球温暖化対策実行計画によって、事業の進捗管理を行います。			
総事業費		継続事業	令和 7 年度事業費	
年度別 事業計画	令和 7 年度		令和 8 年度	令和 9 年度
	鳥栖市地球温暖化対策実行計画進捗管理		鳥栖市地球温暖化対策実行計画進捗管理	鳥栖市地球温暖化対策実行計画進捗管理
	第 3 次鳥栖市環境基本計画・第 2 次鳥栖市地球温暖化対策実行計画中間見直し		第 3 次鳥栖市環境基本計画・第 2 次鳥栖市地球温暖化対策実行計画中間見直し	公共施設の太陽光発電の設置。
	公共施設の太陽光発電の設置検討。		公共施設の太陽光発電の設置検討。	
関連する個別計画		鳥栖市地球温暖化対策実行計画		
総合計画 重点戦略				
重点戦略体系		4.市民と環境にやさしい都市づくり		
重点戦略進捗目標	市民・事業者・行政がそれぞれ一体となった脱炭素化社会の実現に向けた取組を推進するため、ゼロカーボンに取組む事業所である「ゼロカーボン推進パートナー」を令和 8 年度までに 5 0 社を目指す。		令和 5 年度実績	鳥栖市環境基本計画推進会議及び部会を開催し、全庁的に事務事業の洗い出し及び新規事業の検討を行った。1 2 月議会定例会において、ゼロカーボンシティ宣言を行った。宣言後はデコ活に登録し、職員のウォームビズに取り組んだ。
			令和 6 年度実績	ゼロカーボン推進パートナー制度の新設、申請受付（1 8 社） ゼロカーボン推進パートナー認証式実施
			令和 7 年度目標	ゼロカーボン推進パートナー登録企業の推進（1 5 社） ゼロカーボン推進パートナー表彰制度の新設（3 社）
			令和 8 年度目標	ゼロカーボン推進パートナー登録企業の推進（1 5 社） ゼロカーボン推進パートナー表彰の実施（3 社） ゼロカーボン推進協議会（仮称）の設置検討

◆主な取組

ごみ減量とリサイクルの推進

ごみの減量化や資源物の分別収集によるリサイクルに取り組みます。

<取組の体系>

ごみ減量とリサイクルの推進	
	資源回収奨励補助金事業
	コンテナ収集・美化活動推進奨励金事業

事業名		資源回収奨励補助金事業		
担当課	環境課			
事業内容	資源回収団体へ奨励補助金を交付し、ごみ減量化・リサイクルの推進を図る。			
総事業費		継続事業	令和 7 年度事業費	4.5 百万円
年度別 事業計画	令和 7 年度		令和 8 年度	
	資源回収団体に対し、資源物の回収量 に応じ奨励金を交付		資源回収団体に対し、資源物の回収量に応じ 奨励金を交付	
	新聞・雑誌・段ボール・紙パック ＝8 円/kg、古布類＝2 円/kg		新聞・雑誌・段ボール・紙パック ＝8 円/kg、古布類＝2 円/kg	
関連する個別計画		鳥栖市環境基本計画、鳥栖市一般廃棄物処理基本計画		

事業名		コンテナ収集・美化活動推進奨励金事業		
担当課	環境課			
事業内容	町区での資源物コンテナ収集時のコンテナの配置・整理、排出者への分別の指導、その他町内の美化活動を実施する自治会に対し1世帯あたり240円を奨励金として交付する。			
総事業費		継続事業	令和7年度事業費	6.6百万円
年度別 事業計画	令和7年度		令和8年度	令和9年度
	コンテナ収集・美化活動推進奨励金の 報告・申請受付、奨励金の交付		コンテナ収集・美化活動推進奨励金の 報告・申請受付、奨励金の交付	コンテナ収集・美化活動推進奨励金の 報告・申請受付、奨励金の交付
関連する個別計画		鳥栖市環境基本計画、鳥栖市一般廃棄物処理基本計画		

施策2 集い、交流する緑の空間の創出

誰もが楽しく集い、交流できる公園などの適切な整備・管理を推進します。

活動指標

項目	現状（令和元年度）	目標（令和7年度）
公園施設の更新等を行う箇所数 （施設数）（累計）	5箇所	114箇所

◆主な取組

公園などの整備と適正管理

遊具を含む公園施設について、安全性の確保を徹底するとともに、必要に応じた設備の充実や更新などに取り組みます。

<取組の体系>

公園などの整備と適正管理	
	公園施設長寿命化事業

事業名		公園施設長寿命化事業		
担当課	都市整備課			
事業内容	公園利用者の安心・安全を確保するため、遊具等の安全点検等を行い、必要に応じた修繕等を行う。また、公園施設長寿命化計画等に基づき老朽化した公園施設の機能保全のための改修・更新を行う。			
総事業費		継続事業	令和 7 年度事業費	-
年度別 事業計画	令和 7 年度		令和 8 年度	令和 9 年度
	公園施設更新等 (遊具等)		公園施設更新等 (遊具・照明・ベンチ等)	公園施設更新等 (遊具・照明・ベンチ等)
関連する個別計画		鳥栖市公園施設長寿命化計画		

◆主な取組

緑豊かな環境づくりの推進

緑の環境づくりを推進するため、園芸教室・花と緑のイベント開催などを通じ、市民の花や緑への関心を高める取組を行っています。

<取組の体系>

緑豊かな環境づくりの推進	
	緑化啓発事業

事業名		緑化啓発事業		
担当課	都市整備課			
事業内容	花苗・苗木等の配布・植樹体験などを実施する「花とみどりの祭り」の開催や緑化事業の宣伝PRを行う広報紙「緑化だより」の発行、市民の出生を記念した「人生記念樹」の配布などを通じて、緑化啓発と郷土緑化推進を図る。 また、公園内の樹木(高木)の剪定・危険木の伐採及び植栽を行うことで適切な緑の保全・景観づくりを図ると共に、市中心商店街・新鳥栖駅等にフラワーポットを設置し、季節に応じた花苗を植え修景づくりを進めていく。			
総事業費		継続事業	令和7年度事業費	10.5 百万円
年度別 事業計画	令和7年度		令和8年度	
	花とみどりの祭りの開催		花とみどりの祭りの開催	
	緑化だよりの発行		緑化だよりの発行	
	人生記念樹の配布		人生記念樹の配布	
	園芸教室の開催		園芸教室の開催	
	緑の景観づくり		緑の景観づくり	
	フラワーポットによる花植え		フラワーポットによる花植え	
関連する個別計画				

施策3 魅力ある歴史的資源の保存・活用・継承

市民一人ひとりが地域の歴史や文化に誇りと愛着を持ち、伝統を守り、活かし、伝えられるよう、歴史的資源の適切な保存・活用を推進します。

活動指標

項目	現状（令和元年度）	目標（令和7年度）
展示会・見学会・講座等の件数及び参加者数	17 件/年 5,268 人/年	25 件/年 7,000 人/年
勝尾城筑紫氏遺跡葛籠城地区の公有化率	81.5%	93.4%

◆主な取組

歴史的資源の保護と積極的な活用

歴史的資源を保護し、次の世代へ継承するとともに、市内外への PR や、市民がこれらに触れる機会を提供するなどその活用を進めます。

また、民俗芸能の保存・伝承などの歴史的資源を保護・活用する市民や事業者の取組を支援します。さらに、指定文化財等だけでなく、未指定の文化財等を含めた鳥栖地域の歴史的資源を一体的に保存・活用していく取組を進めます。

<取組の体系>

歴史的資源の保護と積極的な活用	
	勝尾城筑紫氏遺跡保存整備事業
	伝統行事や民俗芸能の保存・継承支援
	各種講座・展示会の開催等による普及・啓発
	歴史・文化交流発信施設整備事業

事業名		勝尾城筑紫氏遺跡保存整備事業		
担当課	生涯学習課			
事業内容	勝尾城筑紫氏遺跡の保存及び整備活用を積極的に進め、地域の活性化を図る。			
総事業費		継続事業	令和 7 年度事業費	16.5 百万円
年度別 事業計画	令和 7 年度		令和 8 年度	
	勝尾城筑紫氏遺跡の環境整備及び活用、 防災対策検討		勝尾城筑紫氏遺跡の環境整備及び活用	
	葛籠城跡地区土地公有化（購入）		葛籠城跡地区土地公有化（地権者交渉）	
	史跡整備基本計画改定		勝尾城筑紫氏遺跡の環境整備及び活用 葛籠城跡地区土地公有化（地権者交渉）	
関連する個別計画		史跡勝尾城筑紫氏遺跡保存管理計画 史跡勝尾城筑紫氏遺跡整備基本計画		
総合計画 重点戦略				
重点戦略体系		6.産業と観光の魅力を高める都市づくり		
重点戦略進捗目標	葛籠城跡地区・筑紫氏館跡地区の 史跡整備の基本計画を示す		令和 5 年度 実績	筑紫氏館跡地区の重要遺跡範囲確認調査、葛籠城跡地区土地公有化地権者交渉
			令和 6 年度 実績	史跡整備基本計画改定の検討、筑紫氏館跡流量調査、葛籠城跡地区土地公有化地権者交渉
			令和 7 年度 目標	史跡整備基本計画改定、葛籠城跡地区土地公有化及び地権者交渉
			令和 8 年度 目標	史跡整備基本設計の検討、葛籠城跡地区土地公有化地権者交渉

事業名		伝統行事や民俗芸能の保存・継承支援		
担当課	生涯学習課			
事業内容	地域に伝えられてきた伝統行事や獅子舞等の民俗芸能の保存継承を支援する。			
総事業費		継続事業	令和 7 年度事業費	0.5 百万円
年度別 事業計画	令和 7 年度		令和 8 年度	令和 9 年度
	民俗芸能等の保存継承支援（補助金の交付や斡旋）		民俗芸能等の保存継承支援（補助金の交付や斡旋）	民俗芸能等の保存継承支援（補助金の交付や斡旋）
関連する個別計画		鳥栖市教育プラン		

事業名		各種講座・展示会の開催等による普及・啓発		
担当課	生涯学習課			
事業内容	市民一般を対象に古文書講座や歴史講座等の各種講座、史跡等の見学会や一般公開、展示会等の開催による文化財の積極的な公開・活用を行う。			
総事業費		継続事業	令和 7 年度事業費	0.5 百万円
年度別 事業計画	令和 7 年度		令和 8 年度	令和 9 年度
	各種講座・見学会・展示会等の開催		各種講座・見学会・展示会等の開催	各種講座・見学会・展示会等の開催
関連する個別計画		鳥栖市教育プラン		

事業名		歴史・文化交流発信施設整備事業		
担当課	生涯学習課			
事業内容	サンメッセ鳥栖の1部屋を活用し、九州交通の要衝である鳥栖市を歴史的な視点から紹介する展示施設を整備する。また実際に、現地を訪れる際のポータルとしての機能をもたせる。			
総事業費		継続事業	令和7年度事業費	0.1百万円
年度別 事業計画	令和7年度		令和8年度	
	文化財施設所蔵の文化財整理		文化財施設所蔵の文化財整理。 企画展を開催	
関連する個別計画		鳥栖市教育プラン		
総合計画 重点戦略				
重点戦略体系		6.産業と観光の魅力を高める都市づくり		
重点戦略進捗目標	観光の視点で歴史文化の魅力を発信する		令和5年度実績	展示施設（歴史・文化交流発信施設）を整備
			令和6年度実績	5月供用開始。映像や展示等により市内の文化遺産をアピールする。また8月にイベントを開催する。 小中学生の施設活用
			令和7年度目標	所蔵の文化財をどのように展示するか検討する。 小中学生の施設活用
			令和8年度目標	新たな文化財を紹介する企画展を開催する。 小中学生の施設活用